

事務事業実績測定調査

R4調書番号 736

事務事業名称	職員提案推進事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1988(S63)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁・枚方市職員提案規程				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	様々な要因により改善活動を行えていない職員・職場			
	サブターゲット	自ら改善活動を行っている職員・職場			
	ターゲットが抱える課題	改革・改善意識が浸透していないまたは、日常業務に追われる等様々な要因により改善活動が行えていない。			
	ターゲットが抱える課題	職員個人または職場単位で改善活動を行っているが、その内容が他者、他部署と共有できておらず、全庁的な広がりが無い。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員一人ひとりの改善意識の向上や業務改善活動の組織風土化により、庁内が活性化するとともに、業務の効率化や市民サービスの向上、経費削減等の効果を生み出している状態。				
事業概要	<p>自部署で行った業務改善(実績提案)及び、こうしたら仕事が改善されるのでは、市民生活が豊かになるのではという視点から、未来に向けた提案(未来提案)を募集する。</p> <p>【実績提案】庁内の審査委員会において審査を行い、優れた提案に対しては、表彰を行う。</p> <p>【未来提案】単独部署で検討・実施できるものや、予算措置を伴わない提案を「パパッと拡散系」、複数部署にわたる調整が必要等、じっくり検討が必要な提案を「じっくり検討系」に分けて審査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパッと拡散系:実施した提案の提案者に表彰・褒賞を行う。 ・じっくり検討系:審査委員会において、検討グループを設置する提案についての審査を行い、選出された提案をブラッシュアップすることを目的に、プロジェクトチーム等を設置する。プロジェクトチーム等で検討した後、ブラッシュアップした提案について審査委員会で実施の可否を審査し、実施と決定された提案について、提案者及び検討グループに表彰・褒賞を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			提案が実施される。				未来提案(じっくり検討系)について、検討グループを設置する。			
指標設定	指標説明		ブラッシュアップした提案における表彰対象件数				設置した検討グループで、提案をブラッシュアップした件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		-	2	2	3	-	2	2	3
	実績		-	0	2		-	2	2	
達成度			100%				100%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			提案が実施される。				未来提案(パパッと拡散系)を募集する。			
指標設定②	指標説明		年間の表彰対象件数				年間の提案件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		-	4	4	5	-	7	7	8
	実績		-	2	1		-	5	1	
達成度			25%				14%			

		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③			実績提案における優れた業務改善事例が庁内に展開される。				実績提案の推薦事例を募集する。			
指標設定 ③	指標説明		推薦事例の表彰対象件数 ※令和2年度実績は旧業務改善制度における受賞数を記載。 ※令和3年度は、新制度の試行期につき、実績提案の募集は行わなかった。				実績提案の推薦事例数(合計) ※令和2年度実績は旧業務改善制度における推薦事例数を記載。			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		14	15	16	17	42	43	44	45
	実績		5	-	8		40	-	33	
達成度			50%				75%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,393	7,071	6,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	7,071	6,250		
	物件費計	36	20	0	10	0.0%
歳出計		2,429	7,091	6,250		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費に
	府支出金	0	0	0	0	ついては、人員配置
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	費に充当されるもの
一般財源(物件費に充当されるもの)		36	20	0	10	のみを記載していま

5. 総括的分析

総括的分析	<p>【実績提案】 各職場から33件の推薦事例の報告があり、うち8件が表彰対象となった。</p> <p>【未来提案】 令和4年度は計2件の提案があった。「パパッと拡散系」に分類した1件について、審査の結果「実施可」となったため、表彰の対象とした。また、「じっくり検討系」に分類された1件についても、同じく「実施可」となったことから、前年度よりプロジェクトチームによる検討を継続していた1件とあわせて、計2件を表彰対象とした。</p> <p>【職員提案制度の本格実施に向けて】 令和5年度の職員提案制度の本格実施に向けた見直し検討において、募集区分を「実績提案・未来提案(パパッと拡散系・じっくり検討系)」から「自由提案・テーマ別提案」へ変更し、募集期間も通年へ拡大するものとする。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	令和3・4年度の試行実施を踏まえた見直しを行い、令和5年度より本格実施の運用を開始する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 737

事務事業名称	行財政改革プラン2020推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名		計画推進3-1.「見える」行政改革の推進								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	2023(R5)年度
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	行財政改革プラン2020の改革課題の所管課			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	持続可能なまちづくりに向け、いわゆる2040年問題や、Society5.0における行政の役割など、新たな背景・課題を踏まえた行政改革を進めること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行財政改革プラン2020に掲げる改革課題がすべて達成された状態				
事業概要	<p>令和2年3月に策定した「行財政改革プラン2020—新たな改革ステージへ」に掲げる「行財政経営システムを構築する」「行政サービス・行政資源を最適化する」「スマート自治体への転換をめざす」「職員の働き方と職場を変える」「民間活力の活用や協働を推進する」の5つの基本方針に基づき行政改革の取り組みを進める。</p> <p>また、各改革課題の着実な達成に向け、取り組み年度中(12月頃)に進捗状況を確認・検証し、取組実績の見込みと行政改革効果の確定見込額の集約作業を進め(3月頃)、これらの内容を次年度以降の取組目標や目標効果額に反映し、アップデートした行財政改革プラン2020別冊を、毎年3月末に公表する。あわせて、行政改革効果の「見える化」を図るため、毎年度3月末に実績効果額の確定見込額を、9月に確定額を一覧形式で本プラン別冊に掲載のうえ、公表する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル			「行財政改革プラン2020」の改革課題が着実に取り組まれる。				「行財政改革プラン2020」の改革課題の進捗管理を行う。			
指標設定	指標説明		「行財政改革プラン2020」の各改革課題の達成数				進捗管理の回数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		81	83	88	90	1	1	1	1
	実績		1	7	9		1	1	1	
達成度		10%				100%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②			各年度の実績効果額について、毎年度3月末に確定見込額を、9月に確定額を一覧形式で本プラン別冊に掲載のうえ、公表する。				「行財政改革プラン2020」の改革課題の着実な取り組み			
指標設定②	指標説明		「行財政改革プラン2020」の改革課題のうち、実績効果額を公表したものの数				「行財政改革プラン2020」の改革課題の達成数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		15	22	25	26	81	83	88	90
	実績		16	22	25		1	7	9	
達成度		100%				10%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,570	7,857	5,468		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,570	7,857	5,468		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	9,570	7,857	5,468			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	ほぼすべての課題について令和4年度の取り組み目標を達成し、計画最終年度に向けて順調に取り組みを進めている。
-------	-------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度の計画最終年度に向けて、引き続き適切に進捗管理を行い、すべての改革課題について目標達成できるよう取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 738

事務事業名称	指定管理者制度総括事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	◆地方自治法第244条の2第3項 ◆枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	指定管理者選定委員会				
事業対象	メインターゲット	指定管理者の更新または新規導入のための選定を行おうとする施設所管課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	指定管理者の選定等が適正に行われないうことにより、その施設が適正に運営されない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	指定管理者の選定等が適正に行われ、その施設が適正かつ効率的に運営される。				
事業概要	指定管理者制度を導入あるいは更新するにあたり、指定候補者を選定するため、指定管理者選定委員会を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			円滑に対象施設の指定管理者が決定する。				指定管理者選定委員会を開催する。				
指標設定	指標説明		指定管理者制度を導入している施設数(制度導入単位)				指定候補者の選定について、指定管理者選定委員会において選定手続きを行った施設数(制度導入単位)				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		20	20	20	20	3	3	11	3
	達成度		100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.87
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	18.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,374	12,571	14,608		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	266	409	732		
	人件費計	8,640	12,980	15,340		
物件費計	0	0	0	1	0.0%	
歳出計		8,640	12,980	15,340		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	1	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」について、令和5年3月に第3版として改訂し、指定管理者による管理運営に係る評価の適正を期すため、附属機関として指定管理者評価委員会を設置して外部評価を実施することなどを追加した。</p> <p>また、令和4年度で現行の指定管理期間を満了する11施設（①特別養護老人ホーム・市立デイサービスセンター②くずは北デイサービスセンター③総合福祉会館デイサービスセンター④障害者社会就労センター⑤火葬場⑥自転車駐車場⑦都市公園⑧⑨⑩生涯学習市民センター・図書館の複合6施設（楠葉・津田、御殿山・菅原、蹉跎・牧野）⑪香里ヶ丘図書館・みどりの広場）の指定候補者を選定するため、各施設ごとに指定管理者選定委員会（合議体）を設置して④⑦は計2回、その他は計3回委員会を開催し、全て「公募」により選定した。</p> <p>なお、自転車駐車場については、新たに機械式駐車場2か所を追加し、光善寺東自転車駐車場を削除した上で、また都市公園については、指定管理業務範囲を公園全体に拡大するとともに、新たに東部公園を加えた5公園（王仁公園、香里ヶ丘中央公園、中の池公園、鏡伝池緑地、東部公園）を一括して指定管理者制度更新・導入手続きを行った。</p> <p><各指定管理者選定委員会の流れ（公募）> 第1回委員会：募集要項、仕様書及び選定基準の確認 第2回委員会：事業者の応募状況及びプレゼンテーション方法の確認、応募事業者によるプレゼンテーションの実施 第3回委員会：審査・評価し、合議のうえ答申</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	公の施設への指定管理者制度の導入・更新に際し、適正な事業者の選定に資する指定管理者選定委員会運営事務を、今後も継続実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 739

事務事業名称	事務事業実績測定等運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名	計画推進3-1.「見える」行政改革の推進									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の各事業の詳細情報を求める市民			
	サブターゲット	事務事業の担当部署職員・職場			
	ターゲットが抱える課題	事業の詳細情報を市民に伝える手段がない。			
	ターゲットが抱える課題	各事務事業の今後の方向性等を決める材料が少なく、検討がつけにくい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市の事務事業の概要、実績度や今後の方向性など、事業の詳細情報を把握できる資料として、毎年継続的に実施、公表することで、市民等への説明責任が履行され、行政の透明性が向上し、市民の信頼を得られていると同時に、各事業の実績を毎年度測定することにより、実施内容やコスト配分等を振り返り、今後の事務事業の執行に反映し、また、本市の各種取組への二次的な利活用など、基幹的なツールとしての役割を果たすことを目的として実施することが出来る状態。				
事業概要	本市のすべての事務事業を対象に、前年度の各事務事業の執行において投入したコスト(人件費・物件費)や取り組み内容等を表した「事務事業実績測定調書」を作成し、毎年9月に、決算関係資料として本市ホームページ等で公表を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			事務事業の詳細や関係資料として「事務事業実績測定調書」を公表する。				事務事業実績測定を実施する。						
指標設定	指標説明	公表した事務事業数				測定対象となる事務事業数							
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	件	単位	件				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					1,100	918	913	908	1,100	918	913	908
達成度					95%				95%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.59
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,171	12,571	12,421		
	会計年度任用職員	557	0	0		
	特別職非常勤	675	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,403	12,571	12,421		
	物件費計	157	0	0	0	
	歳出計	10,560	12,571	12,421		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
	一般財源（物件費に充当されるもの）	157	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	測定対象となる事務事業を適切に公表することができました。また、すべての事務事業を対象に、各部署でのロジックモデル等を活用した事業の評価や検証、見直しを踏まえ、担当部署と総合政策部とのヒアリングを実施し、13事業について事業の実施手法や必要経費等の精査を行いました。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	事務事業実績測定については例年同様、適切な測定及び公表に努める。また、令和4年度から新たに実施した事業について、ロジックモデル等を活用した事務事業の見直しに取り組む。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 741

事務事業名称	品質管理運用事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	窓口業務を担当している部署の職員・職場			
	サブターゲット	各窓口に来庁された市民			
	ターゲットが抱える課題	市民目線での徹底した窓口対応が行われない。			
	ターゲットが抱える課題	市民のニーズに合った窓口対応が行われず、窓口に対する不満が募る。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の窓口対応に関する意見やニーズを踏まえ、窓口業務担当課職員・および職場の対応を改善し、さらなる市民満足度の向上を目指している状態。				
事業概要	平成16年3月にISO9001の認証を取得して以降、品質管理に係る取り組みを進めてきたが、平成25年3月に対象業務の品質向上にかかる仕組みの定着化等の理由からISO9001の認証継続を辞退し、これまで培ったノウハウを活かし、平成26年5月から本市独自の「品質マネジメントシステム」として運用を開始。市民に提供する行政サービスのうち、窓口業務を対象に、来庁者アンケートの実施や職員への教育・訓練等による継続的な業務改善を行った。その結果、品質向上に係る取り組みの定着化及び市民満足度の維持・向上が図れていることを踏まえ、平成28年度に運用を終了した。平成29年度以降は、各部署の自発的な取り組みとして、品質向上の取り組みを継続することとしており、目標設定及び来庁者アンケートについても、市民満足度の維持・向上に係る状況の把握を行う観点から引き続き実施していく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			来庁者の満足度が向上する。				各窓口で目標設定に沿った取り組みを実施する。			
指標設定	指標説明		来庁者満足度 【算出式:窓口アンケートにおいて、「満足」「概ね満足」の回答数の合計/全回答数 × 100】				取り組み実施対象部署数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	30	30	30	30
	実績		96.45	97.74	95.96		25	26	31	
達成度			96%				103%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.03
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	393	234		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	234		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	399	393	234			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	対象部署（一般市民との対応を想定した窓口を恒常的に設置する部・課等）31部署において窓口アンケートを実施し、617枚のアンケートを回収した。結果については、「満足」が69.14%、「概ね満足」が26.82%、「やや不満」が3.1%、「不満」が0.94%となった。 人員配置やコストについても想定通りの結果となった。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	窓口アンケートの市民対応満足度は高水準で安定し、より実効性のあるフィードバック手法が求められているところで、広聴相談課が所管する市民の声との機能重複や内部統制制度への統合等の見直し手法を検討する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 785

事務事業名称	窓口業務等の最適化事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	窓口に来庁する市民			
	サブターゲット	窓口業務に従事する職員			
	ターゲットが抱える課題	庁内の窓口が多岐にわたっており、来庁する市民は複数手続きがある場合について各手続きの窓口に移動して手続きを行う必要がある。また、時期によっては待ち時間がそれぞれの窓口で発生する。			
	ターゲットが抱える課題	窓口業務に従事する職員は、本来業務とあわせて窓口業務を行っている場合があり、本来業務の時間が割かれている場合がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	来庁する市民が極力移動することなく、ワンストップで手続きを行っている状態。あわせて、窓口業務のアウトソーシングにより、職員が本来業務に注力できている状態。				
事業概要	窓口業務のアウトソーシング導入に係る検討(窓口の形態、委託範囲、委託形態等)を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
			窓口業務のアウトソーシング導入を実施する。	窓口業務のアウトソーシング導入に係る検討を実施する。
指標設定	指標説明		アウトソーシング導入を行った窓口業務数	アウトソーシング導入の検討や取り組みを行う窓口業務数 【窓口業務等のアウトソーシングに係る考え方記載の窓口業務数】
	指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)		45 0 0 0	45 0 0 0
	実績		0 0 0	45 0 0
達成度			100%	100%

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.03
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,380	393	234		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	190	0	0		
	人件費計	6,570	393	234		
	物件費計	17,318	0	0	0	
歳出計		23,888	393	234		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	17,318	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	17,318	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市駅前行政サービスの再編等の状況を踏まえながら、取り組みを進めていく。
-------	---------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方市駅前行政サービスの再編等の動向を注視し、その状況を踏まえながら取り組みを進める。

事務事業名称	公共施設等総合管理事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	総合政策部			課	行革推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名	計画推進3-2.公共施設の適正化									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の市民(公共施設利用者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	今後、老朽化が進む公共施設等の更新時期が集中することから、維持管理費用の確保が困難となり、適切な公共サービスを受けることが困難になっていく恐れがある。また、人口構造の変化によるニーズの変化が予想される。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共施設全般に係る総合的かつ計画的なマネジメントを本市全体で統一的、効率的に推進し、将来の人口構造や人口規模に合わせた公共施設の総量の適正化が図られ、今後も適切な公共サービスが維持される状態。				
事業概要	公共施設等について、総合的かつ計画的に管理していくための「枚方市公共施設マネジメント推進計画」を策定し、施設評価及び個別施設計画の策定に向けた取り組みを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)						
		必要に応じて個別施設計画(総合編)に基づき個別実施計画を策定し、これらの計画の取り組みを効率的に推進する。	施設の長寿命化や、総量の最適化の基本的な考え方を示した個別施設計画(総合編)を策定し、個別実施計画の策定につなげる。						
指標設定	指標説明	市民一人あたりの公共施設面積 【算出式:市所有の公共施設の延床面積/市の人口】	個別施設計画(総合編)の策定数						
	指標種類	単位	㎡						
	指標数値	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標						
	達成度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1.9	1.9	1.9	1.9	1	—	—	—
実績	1.9	1.9	1.9		1	—	—		
達成度	100%				—				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.95
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,171	9,428	7,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,171	9,428	7,421		
	物件費計	297	297	297	635	46.8%
	歳出計	9,468	9,725	7,718		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	297	297	297	635	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度は想定どおりであったが、市民一人あたりの公共施設面積を今後も維持していくためには、さらにマネジメントを推進する必要があるため、施設評価項目の見直し等を検討していく必要がある。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、毎年度の施設カルテの作成と、一次、二次の施設評価を実施する。また、施設総量の最適化に向け、他市事例を参考にしながら施設評価項目の見直しの検討を進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 837

事務事業名称	内部統制推進事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	総合政策部			課	行革推進課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全職員			
	サブターゲット	行政サービスの受け手である市民			
	ターゲットが抱える課題	組織目的の達成を阻害する事務上の要因であるリスクに対する対応策に過不足がある。			
	ターゲットが抱える課題	既に一定存在している内部統制が有効に活かされていない部分がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市における事務の適正な執行が確保された状態。				
事業概要	<p>住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう導入した内部統制制度について、実施体制の整備及び運用を全庁的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務上のリスクの識別(庁内とりまとめ) ○日常的モニタリング等の推進 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			適正な事務の執行が確保されている。				各課が事務上のリスクを識別及び評価し講じた対応策に基づき、リスク予防を意識して事務を遂行するよう推進する。			
指標設定	指標説明		内部統制制度の整備上及び運用上の不備数				業務リスク対応策の整備数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		0	20	10	5	0	133	138	143
	実績		0	45	58		0	133	134	
達成度			-380%				97%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.68
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	1,571	5,312		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	1,571	5,312		
	物件費計	—	0	0	0	
	歳出計	—	1,571	5,312		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>内部統制制度の推進に向けて、内部統制評価報告書の評価結果を踏まえたリスクや対応策の整備など、リスク評価シートの見直しを行った。また、リスク発生の低減につなげるため、各課で発生した不備の発生原因や再発防止策などを庁内に共有して注意喚起するとともに、制度の周知も行い、職員意識への浸透を図った。</p> <p>令和4年度は目標見込みを上回る58件の不備が発生したが、制度の周知・啓発により庁内に制度が浸透し始めたことで、これまで報告されていなかった潜在リスクの報告が増加したとも考えられる。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、職員一人ひとりが内部統制制度を自分事として捉え、リスク予防を意識して適切に業務に取り組めるよう、評価報告書に基づき速やかにリスクの見直しに取り組むとともに、定期的な不備の発生状況の共有や制度の周知により、リスク発生の低減と制度の職員への意識付けを図っていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 845

事務事業名称	行革推進課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総合政策部			課	行革推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	行革推進課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	行革推進課の円滑な運営が図れない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行革推進課の庶務事務等の正確かつ迅速な運営執行が図れている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	3,143	2,734		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	3,143	2,734		
	物件費計	450,082	123	4	60	6.7%
	歳出計	452,475	3,266	2,738		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	575	92	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	575	92	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	449,507	31	4	60	

5. 総括的分析

総括的分析	課内の運営及び庶務事務については、適正かつ迅速に遂行した。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	庶務関係事務等を正確かつ迅速に処理することにより、所管事務を円滑に遂行する。